

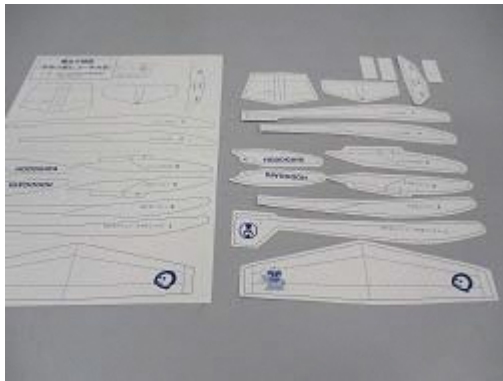
型紙ヒコーキの作り方



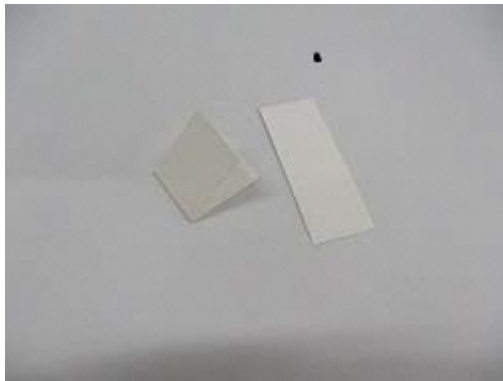
用意する材料はこちら。
保土ヶ谷区指定の型紙の
ほかに、道具は、上からハ
サミ、カッター、定規、千
枚通し(使用済みボールペ
ンでもよい)、クリップ、
ラップ、接着剤。



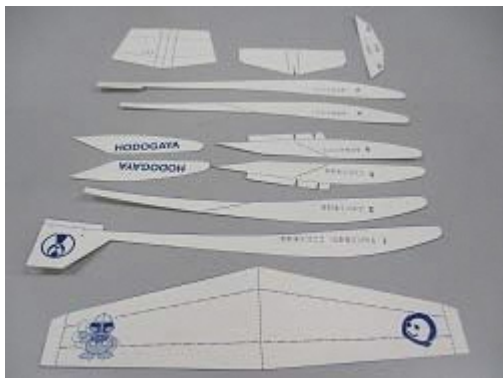
あらかじめ折り線部分に
定規等をあてて、千枚通し
などでスジ(折り目)をつ
けておきます。



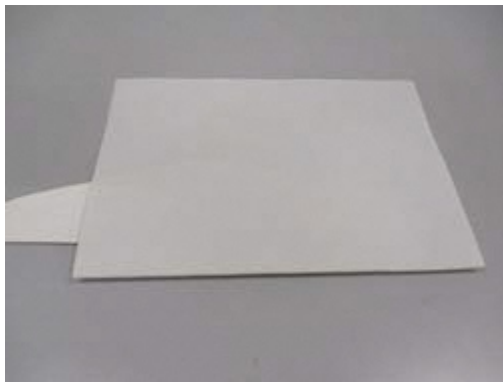
型紙の切り取り線の外側
を大まかに切りましょう。
(このとき、余白の部分で
2cm×5cm くらいの短冊
状の切れ端をいくつか作
っておくとよいです。)



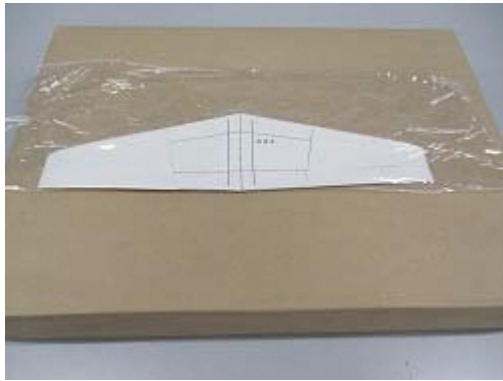
ちなみに、この短冊部分
は、2つ折りにして、接着
剤をすばやく全面に塗る
のに使います。



型紙の切り取り線どおり
にきちんと切りましょう。
(一度おおまかに切らず
にいきなり切り取り線ど
おりに切り取ろうとすと
失敗のもとです。)



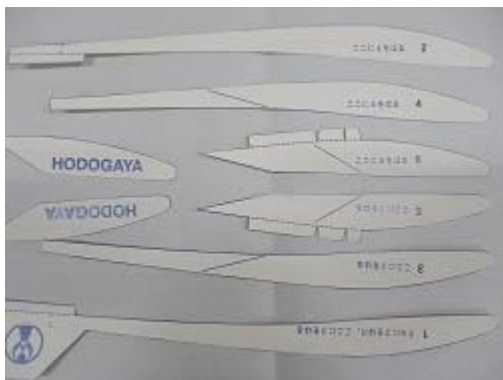
まずは主翼部分。短冊を使って接着材をたっぷり塗って、主翼と補強部分の中心線を合わせて、すばやく接着し、台紙ではさみ、上から圧着させます。



余分な接着剤をきれいにふいてからラップで包み、電話帳などで重しをします。



乾燥時間は3～4時間(できれば1日)です。



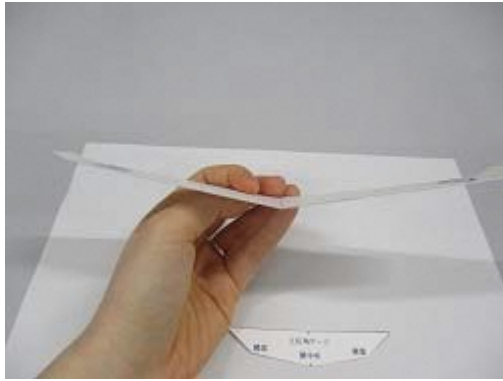
次に胴体部分。型紙に1～8の番号が記載してあります。まず1と2を合わせて接着し、その外側に3と4、5と6、7と8の順番で接着していきます。



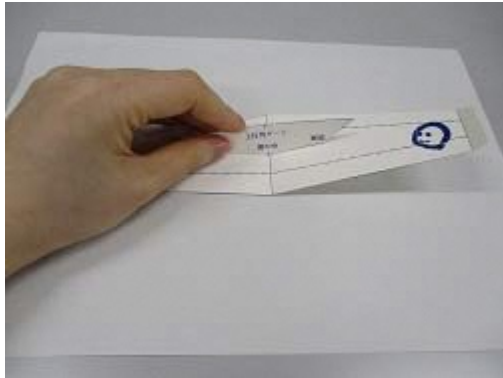
8枚接着するとこのような感じ。



主翼部分と同様に、ラップで包み、重しをします。乾燥時間も同じくらいです。



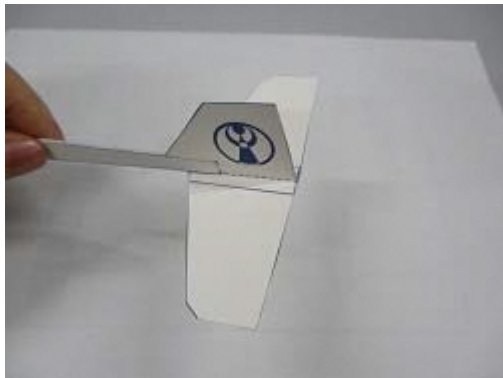
主翼部分と胴体部分の接着剤が乾いたら、組み立て準備です。
主翼の谷折り線部分を織って、ゲージ（型紙についている測定器具）に合わせて角度をつけます。



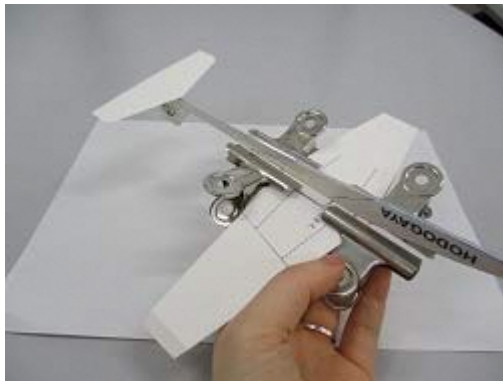
翼中心と翼端に角度を。



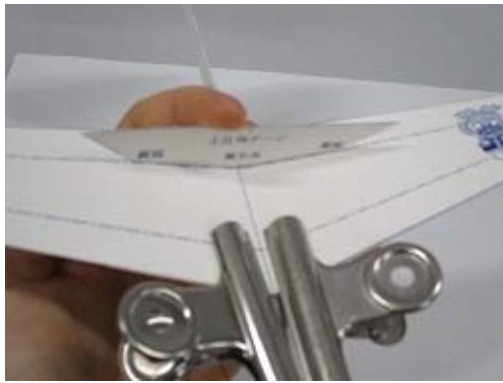
水平尾翼取り付け部分を平らにします。このとき機体がねじれないように！また、主翼の取り付け部分の接着剤のかたまりなどはカッターで取り除いておきます。



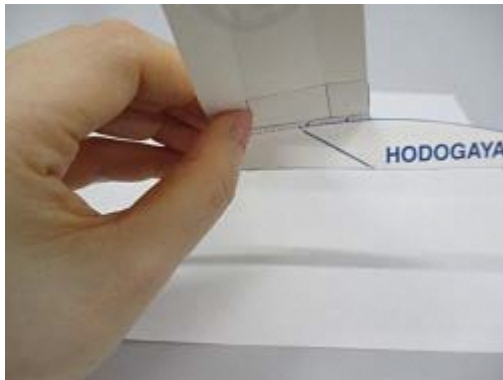
水平尾翼を胴体に接着します。水平尾翼に印刷してある中心線が必ず胴体の中心を通るように慎重に！



主翼も取り付け部分ののりしろに（胴体と主翼の間に隙間ができないように）きちんと接着します。



接着材が乾かないうちに主翼の谷折り線部分の角度をチェック&調整！



接着剤がよく乾いてから、主翼の山折り線部分を少し山折りにして反りをつけます。



先端にケガ防止のスポンジを付けます。



組みあがったら、各部にねじれがないか、主翼の反りが左右均等か、垂直尾翼が胴体と平行か、チェックします。完成したらよく乾燥させましょう。（テスト飛行は翌日以降に！）